

NR・サプリメントアドバイザー 認定資格取得のながれ

【団体会員】



一般社団法人日本臨床栄養協会

2020年度版



NR・サプリメントアドバイザーの役割と職域

「保健機能食品、サプリメントの国民への啓発」

消費者に対して保健機能食品、サプリメントについて、専門的観点から個々人の栄養状態を評価し、適切にアドバイスできること。

職域

1. 保健機能食品等が販売されている店舗・薬局・ドラッグストアや通販の会社等
2. 保健機能食品等の製造・販売会社のお客様相談室等
3. 保健所、保健センター、病院・診療所等の保健・医療機関
4. 消費者センター等の消費者相談機関
5. 地域における食生活改善活動の場

『NR・サプリメントアドバイザー』ロゴマーク



認定制度

NR・サプリメントアドバイザーの質の確保および向上を図るために認定試験制度と更新制度により認定を行う。更新は5年毎に実施する。

特色



- ①厚生労働省が作成したガイドライン(『保健機能食品等に係るアドバイザースタッフの要請に関する基本的な考え方』)に100%沿った教育内容としている。※1
- ②厚生労働省が発行した『「健康食品」に係る制度に関する質疑応答集について』で当協会の資格が紹介されている。※2
- ③講師陣が充実しており、その講師陣がテキスト・試験問題作成からフォローアップまで、一貫して担当することを徹底。
- ④すでに多くの団体が登録し、継続して活用している。

※1・・・ガイドライン 厚生労働省ホームページ参照

<http://www.mhlw.go.jp/topics/2002/03/tp0313-1.html>

※2・・・質疑応答集 厚生労働省ホームページ参照

<http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/iyaku/syoku-anzen/hokenkinou/dl/20.pdf>





団体会員について

- ①栄養学をベースに保健機能食品・サプリメント等について、総括的に勉強できるので、所属社員の人材育成として活用できる。
- ②団体会員は、年4回発行の日本臨床栄養協会誌「New Diet Therapy」が毎号2冊送付される。
- ③所属社員(団体登録者)は、NR・サプリメントアドバイザーの資格取得まで入会金・年会費9,000円が免除される。
- ④所属社員の人材育成としてすでに病院・クリニック・食品メーカー・製薬メーカーが取り入れている。

団体会員の対象および認定対象者

食品衛生・健康の維持増進・予防医学に関わりのある業務または保健機能食品、サプリメントの研究・開発・製造・販売に従事する全ての団体・企業および所属社員。



団体会員申請から受験までの流れ



手続きはすべて担当者にて一括で行っていただきます

①団体会員の登録

【担当者】 入会手続き 【所属社員】 通信教育申込

勉強時間の確保のため、
3月頃までの手続きがおすすめ

②通信教育による学習（4月配信スタート）

※受験のための40単位が取得できます

※テキストは別途申込



公認テキスト「NR・サプリメントアドバイザー必携」

③願書提出

【所属社員】 担当者へ提出 【担当者】 まとめて手続き

④認定試験※年1回全国各会場にて

⑤合格者へ認定証・認定カード授与（有効期間5年）

※認定試験に合格した団体会員登録者は、翌年度より正会員への登録変更が必要

※5年ごとの更新には会員の継続と50単位の取得が必要





費用

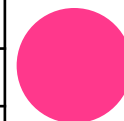
	(円)	団体会員	団体登録者
入会金		なし	なし
年会費(毎年度)		25,000	なし※
通信教育受講料(初回/再受講)		-	51,000/20,400
NR・サプリメントアドバイザー受験料			15,300

※認定試験に合格するまで不要。

社員教育にぜひ
ご活用くださ
い！

(参考) 正会員の場合

	(円)	正会員
入会金		1,000
年会費(毎年度)		8,000
通信教育受講料(初回/再受講)		51,000/20,400
NR・サプリメントアドバイザー受験料		15,300



教育内容



(1) 教育趣旨 「保健機能食品、サプリメントに係る指導・相談専門家の育成」

(2) 認定のための教育内容

1. NR・サプリメントアドバイザーの役割と倫理
2. 基礎の生理学
3. 基礎の生化学
4. 人間栄養学
5. 生活習慣病概論
6. 臨床栄養と臨床検査
7. 身体活動と栄養
8. 食品安全衛生学
9. 健康食品
10. 臨床薬理学
11. 食品機能の科学的根拠
12. 行動科学とカウンセリング
13. 国内外の関連法規－食品の健康表示と安全性－



通信教育『NR・サプリメントアドバイザー講座』



【教育方法】

上記教育内容を現に勤務している人や広く全国の人達が、等しく教育の機会を持てるよう、認定試験のための公認テキスト「NR・サプリメントアドバイザー必携」の出版およびインターネットを活用したオンデマンド方式による通信教育方法を採用。

●教育メディア: インターネット

パスワード取得により常時受講可能なオンデマンド方式。

スマートフォンからも閲覧可能。

●放送回数: 4月から11月までの8ヶ月 合計37コマ

(閲覧は翌年2月末日まで可能。)

●教育時間: 1コマ約30分間



放送内容(2020年)

4月から11月までの8ヶ月 合計37コマ

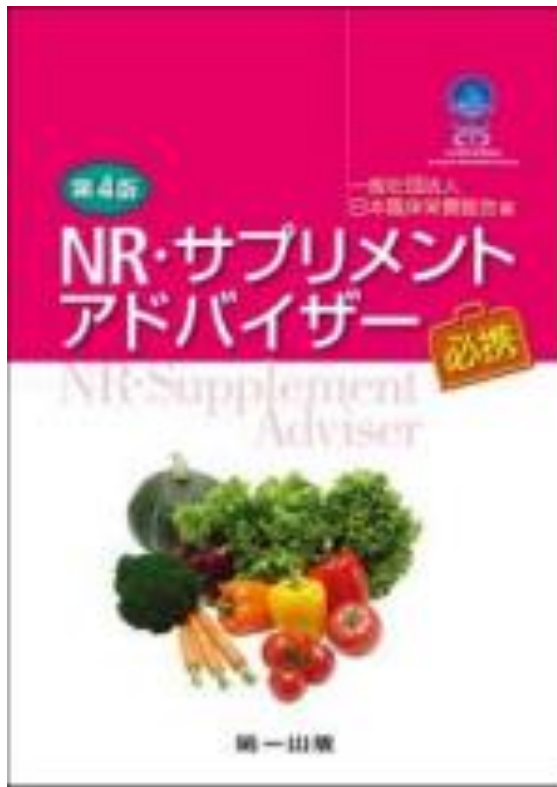
※閲覧は翌年2月末日まで可能。



放送回数	ネット配信日	講師	収録テーマ
第1回	4月6日	多田紀夫理事長	開講にあたって
第2回	4月13日	田中弘之(東京家政学院大学)	NR・サプリメントアドバイザーの役割と倫理
第3回	4月20日	合田敏尚(静岡県立大学)	基礎の生理学①
第4回	4月27日		基礎の生理学②
第26回	9月28日		認定試験対策講座① 基礎の生理学
第5回	5月4日	青江誠一郎(大妻女子大学)	基礎の生化学①
第6回	5月11日		基礎の生化学②
第27回	9月28日		認定試験対策講座② 基礎の生化学
第7回	5月18日	合田敏尚(静岡県立大学)	人間栄養学①
第8回	5月25日		人間栄養学②
第28回	10月5日		認定試験対策講座③ 人間栄養学
第9回	6月1日	脇昌子(静岡市立静岡病院)	生活習慣病概論①
第10回	6月8日		生活習慣病概論②
第11回	6月15日		臨床栄養
第29回	10月5日	脇昌子(静岡市立静岡病院)	認定試験対策講座④ 生活習慣病概論と臨床栄養
第12回	6月22日	久保明(銀座医院)	臨床検査と身体活動と栄養①
第13回	6月29日		臨床検査と身体活動と栄養②
第30回	10月12日		認定試験対策講座⑤ 臨床検査と身体活動と栄養
第14回	7月6日	志村二三夫(十文字学園女子大学)	食品安全衛生学①
第15回	7月13日		食品安全衛生学②
第31回	10月12日		認定試験対策講座⑥ 食品安全衛生学
第16回	7月20日	梅垣敬三(昭和女子大学)	健康食品①
第17回	7月27日		健康食品②
第32回	10月19日		認定試験対策講座⑦ 健康食品
第18回	8月3日	篠塚和正(武庫川女子大学)	臨床薬理学①
第19回	8月10日		臨床薬理学②
第33回	10月19日		認定試験対策講座⑧ 臨床薬理学
第20回	8月17日	石見佳子(医薬基盤・健康・栄養研究所)	食品機能の科学的根拠①
第21回	8月24日		食品機能の科学的根拠②
第34回	10月26日		認定試験対策講座⑨ 食品機能の科学的根拠
第22回	8月31日	石原俊一(文教大学)	行動科学とカウンセリング①
第23回	9月7日		行動科学とカウンセリング②
第35回	10月26日		認定試験対策講座⑩ 行動科学とカウンセリング
第24回	9月14日	田中弘之(東京家政学院大学)	国内外の関連法規 - 食品の健康表示と安全性-①
第25回	9月21日		国内外の関連法規 - 食品の健康表示と安全性-②
第36回	11月2日		認定試験対策講座⑪ NR・サプリメントアドバイザーの役割と倫理/国内外の関連法規
第37回	11月2日	副理事長	閉講にあたって



認定試験のための公認テキスト



NR・サプリメントアドバイザー必携 第4版

著者 : 一般社団法人日本臨床栄養協会/編集
出版社名: 第一出版
発行年月: 2019年3月中旬
定価 : 本体4,950円(税込)*会員価格あり

NR・サプリメントアドバイザー認定試験のための公認テキスト。各科目ごとに、その分野の第一人者による解説が加えられ、巻末には認定試験を想定した練習問題を収録。



認定試験



●受験資格

①日本臨床栄養協会会員であること。

②研修単位は、40単位取得していること。

※通信教育の受講により40単位が認定されます。

※取得した研修単位は、会員継続により合格するまで有効。

●受験願書受付締切り:9月30日(水)[必着]

●受験科目

1.NR・サプリメントアドバイザーの役割と倫理

2. 基礎の生理学

3. 基礎の生化学

4. 人間栄養学

5. 生活習慣病概論

6. 臨床栄養と臨床検査

7. 身体活動と栄養

8. 食品安全衛生学

9. 健康食品

10. 臨床薬理学

11. 食品機能の科学的根拠

12. 行動科学とカウンセリング

13. 国内外の関連法規－食品の健康表示と安全性－



認定試験



●試験方法と出題数: 択一式(解答用紙記入)の学科試験、90題

●受験日時: 12月6日(日)13:00~15:00(12:45着席)

●受験会場: 下記全国数か所※会場は変更する場合があります

東京会場、大阪会場、福岡会場、新潟会場、徳島会場、名古屋会場、岡山会場

●認定試験受験の申込方法

※お手続きはすべて団体担当者を窓口に行ってください。

※書類はすべて団体担当者にまとめてお送りいたします。

①協会より受験要項[願書]が送付される(9月頃)

↓

②受験者に配布し、各自書類を揃える

↓

③受験者人数分の受験料と願書をまとめて事務局へ提出する※詳細は、受験要項に従う

↓

④人数分の受験票を受け取り、受験者に配布する

↓

各自試験会場にて受験



認定資格者の内訳



◆2019年12月1日実施第7回認定試験 資格別合格率

資 格	受験者数	合格者数	合格率
医師	1	1	100.0%
歯科医師			
獣医師			
管理栄養士	36	26	72.2%
栄養士	13	7	53.8%
薬剤師	61	54	88.5%
看護師・助産師・保健師	5	2	40.0%
臨床検査技師			
その他の指定資格保持者	62	47	75.8%
指定資格のない方	116	47	40.5%
学校認定校	287	156	54.4%
合 計	581	340	58.5%

認定資格者の内訳

『国立健康・栄養研究所栄養情報担当者(NR)』合格者内訳

第1回(2004年)～第9回

資格	合格者数	比率
医師	54	0.9%
歯科医師	11	0.2%
獣医師	7	0.1%
管理栄養士	1145	20.2%
栄養士	411	7.2%
薬剤師	2224	39.2%
看護師・助産師・保健師	36	0.6%
臨床検査技師	41	0.7%
第2～6号該当※1	1117	19.7%
第7号該当※2	629	11.1%
合計	5,675	100.0%

※1 第6回認定試験までは第1～5号該当者。学校教育法に基づく大学若しくは高等専門学校等において、栄養学、薬学、保健学、医学、獣医学、水産学又は農芸化学の課程を修めて卒業した者、第7回認定試験からは薬学共用試験に合格した者を含む。

※2 資格確認試験に合格した者

『日本臨床栄養協会サプリメントアドバイザー』認定者内訳

第1回(2002年)～第11回

資格	認定者数	比率
医師	149	2.8%
歯科医師	27	0.5%
獣医師	10	0.2%
管理栄養士	711	13.5%
栄養士	183	3.5%
薬剤師	952	18.1%
看護師・助産師・保健師	118	2.2%
臨床検査技師	46	0.9%
その他の指定資格保持者	61	1.2%
指定資格のない方	1093	20.7%
学校認定校学生	1771	33.6%
特別措置制度認定者	152	2.9%
合計	5,273	100.0%

『NR・サプリメントアドバイザー』認定者内訳

第1回(2019)～第7回(2019)実施までの累計		
資格	認定者数	比率
医師	20	0.7%
歯科医師	3	0.1%
獣医師	0	0.0%
管理栄養士	227	8.5%
栄養士	39	1.5%
薬剤師	325	12.1%
看護師・助産師・保健師	25	0.9%
臨床検査技師	8	0.3%
その他の指定資格保持者	300	11.2%
指定資格のない方	580	21.7%
学校認定校	1148	42.9%
合計	2,675	100.0%



更新のための研修単位の取得方法

更新のための研修単位50単位の取得方法と費用

①学術大会(大連合大会)への参加 10単位(参加費用12,000円/学生3,000円)
(サプリメントフォーラム参加による別途加算制度有り) 10単位(大連合大会参加費に含む)

②協会主催のレベルアップセミナーへの参加 10単位(参加費用3,100円)
レベルアップセミナーweb配信による学習 5単位(価格3,100円)

※但し、同会場聴講者が、同会場WEB配信を申込みした場合、更なる単位加算はしない。

③NR・サプリメントアドバイザー交流研修会への参加 10単位(参加費用4,100円)

④通信教育の再受講 20単位(受講費用20,400円/学生5,100円)

⑤サプリメントフォーラム収録DVDによる学習 10単位(価格6,200円)

※但し、サプリメントフォーラム参加者が収録DVDを購入した場合、更なる単位加算はしない。

⑥論文発表(食品と健康に関する論文で査読者のいる学術論文の掲載)
1編につき、筆頭著者:10単位、共著者:5単位

⑦学会発表 5単位

⑧協会が承認した関連学会や団体の実施するセミナー等への参加単位は、会員専用ページにて都度お知らせします。

「NR・サプリメントアドバイザー」は、栄養学をベースとした保健機能食品・サプリメント等の適切な使用を指導できるリーダーであることをモットーにしています。従って、年に一度の大連合大会には積極的に参加して下さい。

※更新に必要な50単位は、資格有効期限内に取得されたものに限りません。

※50単位以上取得の場合でも、次回更新への単位の繰り越しはできません。

※⑥⑦は、ホームページでご案内のとおり、事前に事務局に単位申請することが必要です。

※更新には、日本臨床栄養協会の正会員であることが条件です。年会費が一年以上未納の場合、退会扱いになりますのでご注意ください。

